



2020年1月30日

各位

会社名 東亜合成株式会社

(URL <http://www.toagosei.co.jp/>)

代表者名 代表取締役社長 高村 美己志

(コード番号 4045 東証1部)

問合せ先 グループ管理本部IR広報部長 根本 洋

(TEL 03-3597-7215)

中期経営計画（2020～2022年）について

－ 東亜合成グループ中期経営計画「Stage up for the Future」 －

東亜合成グループは、「素材と機能の可能性を追求し、化学の力で新しい幸せをあなたへ届けます。」との企業理念の下、新製品・新事業の創出による持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指します。2020年から2022年を対象とする中期経営計画「Stage up for the Future」においては、前中期経営計画「成長への軌道2019」で注力してきた新製品開発と積極的な設備投資を継続するとともに、新事業創出と研究開発の機能をより一層強化することにより、高付加価値製品事業のさらなる拡大を図ってまいります。

1. 基本方針

(1) 高付加価値事業の拡大

高付加価値製品事業の拡大に向けて、成長牽引事業の販売強化と新製品開発に着実に取り組み、2022年に売上高1,630億円を達成する。

(2) 将来を支える「第4の柱」事業を含む新ビジネスユニットの創出

当社グループのコア技術を起点として、従来の事業領域を超えた新規キーマテリアルやサービスを新たなビジネスユニットとして複数創出する。

(3) 基盤事業の強靱化

収益基盤を強化するため、基盤事業の計画的投資と継続的合理化を進め、成長が見込めない事業を整理、縮小する。

2. 重要施策

(1) 新事業創出機能と研究開発機能の強化

新設した新事業企画部による新事業創出機能を加速し、オープンイノベーションや知財戦略強化、マテリアルズインフォマティクス(MI)導入により研究開発の効率化と高度化を推進する。

(2) 瞬間接着剤等の海外展開推進

北米における事業を再構築するとともに、アジア等の新興国市場へ本格参入する。

(3) デジタルトランスフォーメーション(DX)による競争優位性拡大と機能強化

全社情報処理網の一元化と情報の高度利用により、顧客ニーズに応える製品開発と生産革新を推進する。

(4) 成長戦略の担い手となる人材の確保と育成

人材採用・育成方法を見直し強化し、海外人材の登用、多様化する社会に対応した社内環境の整備などを推進する。

(5) サステナブル経営の推進、ステークホルダーとの共存共栄

新設したサステナビリティ推進部を中心に、地球環境保全に資する新ビジネス・新製品開発の推進およびステークホルダーとの対話を強化する。

3. 数値目標

	2022年目標
売上高	1,630億円
営業損益	170億円
(参考) 売上高営業利益率	10.4%
利払い前、税引き前、減価償却前利益 (EBITDA)	270億円
高付加価値製品比率 (売上高比)	47%
設備投資額 (検収ベース)	440億円 (2020年から2022年の3年間累計)
海外売上高	325億円
(参考) 海外売上高比率	20%
1株当たり純利益 (EPS)	106円
総資産経常利益率 (ROA)	7.0%

(1) 設備投資計画

前中期経営計画に引き続き、高付加価値製品の投資に注力するとともに、基幹化学品事業の設備更新と工場自動化、情報関連の投資を強化し、2020～2022年の3年累計で440億円を目標とする。

(2) 海外展開計画

ポリマー・オリゴマー事業、接着材料事業、高機能無機材料事業を中心に、高付加価値製品事業の積極的な海外展開を推進し、2022年の海外売上高比率20%超を目指す。

(3) 資本政策

資本効率性の向上、株主還元強化に向け、次の資本政策を推進する。

- ・ 1株当たり純利益 (EPS) と総資産経常利益率 (ROA) を数値指標とし、収益力と資本効率性の強化・向上を図る。
- ・ 配当性向30%以上を目途とした安定配当を継続するとともに、自己株式の取得 (2020～2022年3年累計で100億円程度) により、連結総還元性向および1株当たり純利益 (EPS) の向上を図る。

以上